

これからの富士宮を創る広報誌

So good!

創宮

■富士山の恵みの水
酒のまち 富士宮市

■「出会ってよし 結ばれてよし」、
「生んでよし 育ててよし」、
「学んでよし」のまちをめざして

■みんなで応援しよう
スキー・モーグル伊藤真凜選手

So good! vol.47



富士山の恵みの水 酒のまち 富士宮市



富士山の恵みの水 酒のまち 富士宮市

牧野酒造合資会社

下条1037 ☎58-1188



▲富士宮市景観賞(最優秀賞)受賞の蔵全景。蔵の煙突、黒塀などは市景観重要建造物にも指定されています

市内下条にある牧野酒造の創業は1743(寛保3)年。自然豊かな上野地区に蔵を構え、蔵人が伝統的な技術を結集させてお酒を造っています。



▲事務所の前には孤樽こもどるが飾られます



盃を重ねるごとに深まる旨味。丁寧に醸された牧野酒造のお酒は、雑味の少ないすっきりとした味わいで、皆さんの団欒のひとつときに寄り添います。

【受賞歴】

- ・ CINVE*¹ 2023(スペイン) 銀賞
- ・ IWC*² 2015 日本酒部門 入賞
- ・ 全米日本酒鑑評会2010 金賞
- ・ 静岡県新酒鑑評会 入賞
- ・ それ、みやげにして宮! 大賞
- ・ 富士山名物グランプリ 銀賞



▲美味しいお酒になるように願いを込めて作られた杉玉は、新酒ができた時に飾ります。 ▲牧野酒造の銘酒「純米吟醸 誉富士 富士山」
干支の蛇のかたち(写真右)もあり、訪れる人を楽しませます

*1…スペイン政府公認のお酒の品評会

*2…イギリスで開催されるワインのコンテスト

富士宮市は、市内に4つの酒蔵がある、とても珍しいまちです。それぞれの酒蔵は伝統を守りながら、富士山の恵みである「水」を活かしたお酒を作っています。

富士高砂酒造株式会社

宝町9-5 ☎27-2008



▲富士山本宮浅間大社の西側で、富士山の伏流水を活かしたまろやかなお酒造りをしています

市内宝町の富士高砂酒造の創業は1830（天保元）年。江戸時代から続く伝統を守り、能登杜氏の技と心、職人の手仕事による丁寧なお酒造りが特徴です。



▲店内に湧き出る伏流水

蔵に住み着く乳酸菌を利用してじっくりとお米を発酵させる「山廃仕込み」によって造られたお酒は、海外でも非常に高い評価を受けています。

【受賞歴】

- ・ミラノ酒チャレンジ※3 2025
純米大吟醸部門 プラチナ賞
 - ・Kura Master※4 2025
純米大吟醸部門 プラチナ賞
 - ・IWC2024 SAKE 部門 金賞
- ※富士高砂酒造は通算3度目の受賞



▲蔵の敷地内で汲み上げた伏流水を使用しています



▲出荷の時を待つお酒が保存されています



▲廃仏毀釈運動を逃れた薬師如来がお酒造りを見守ります

※3…イタリアで行われる日本酒の品評会

※4…フランスで行われる日本酒の品評会

富士錦酒造株式会社

上柚野532 ☎66-0005



富士錦酒造は、元禄時代(1688～1704年)から続く県内でも歴史のある酒蔵です。かつては広大な農地を持つ地主で、地域の祭りや、小作人に振る舞うお酒をわずかに造っていました。しかし、昭和21(1946)年の農地解放※で農地の大半を手放したことをきっかけに、それまで副業として行っていたお酒造りを本業に転換しました。

※農地解放…政府が地主から農地を買い取って、小作人に売り渡し、農村の民主化をすすめた政策



▲富士山に抱かれた富士錦酒造



▲大きなタンクが目を引きます



▲自社でお米を栽培



富士山の柔らかな伏流水と、伝統の技術に支えられた富士錦酒造のお酒の品質は国内だけでなく、海外にも知れ渡っています。

【受賞歴】

- ・ 令和6 酒造年度 全国新酒鑑評会※¹ 銀賞
- ・ Kura Master2025
純米大吟醸部門 プラチナ賞
- ・ IWC2024 入賞
- ・ 全国熱燗コンテスト※² 2024 金賞



▲衛生面に特に気を使い、安全なお酒造りをを行っています



▲高い評価を受けている「特別純米誉富士」

※1…明治44年から続く全国規模の新酒鑑評会

※2…温めておいしい日本酒を選ぶコンテスト

富士正酒造株式会社

根原450-1 ☎52-0313



▲あさぎりフードパーク内にある酒蔵からは、迫力のある富士山が間近に見えます

朝霧高原に蔵を構える富士正酒造は、慶応2(1866)年に上野で創業。平成23年に当時の社長が朝霧高原の環境に惹かれて蔵を移設した「富士山に一番近い酒蔵」です。



▲お酒に命を吹き込む丁寧な手作業



富士正酒造は朝霧高原の澄んだ空気の中で日本酒のほか、焼酎なども手掛けており、さまざまな分野の品評会で多くの賞を受賞しています。

【受賞歴】

- ・令和元酒造年度 全国新酒鑑評会 入賞
- ・シンガポール酒チャレンジ※³ 2024
「日本酒仕込 ワタシの柚子酒」 最高賞
- ・東京ウイスキー&スピリッツ コンペティション※⁴ 2025「粕取焼酎 霧酎」 金賞



▲店舗には市内外からリピーターが訪れます



▲富士山と酒造名の「正」をデザインした新しいロゴを採用



▲富士正酒造を代表する銘酒「純米大吟醸 40%」

※3…日本酒の魅力を世界に伝え、シンガポール市場における新たな可能性を切り拓くイベント

※4…世界中のウイスキー、スピリッツの審査を行うアジア最大級の出品数の品評会

「出会ってよし 結ばれてよし」、 「生んでよし 育ててよし」、 「学んでよし」のまちをめざして

結婚・子育ての思いが実る環境づくり



強化

●不妊不育症の治療費の助成

不妊症・不育症治療費の自己負担額の2分の1、年間最大80万円まで助成しています。

●出会い・交流支援事業

男女の出会いの場「みや恋」イベントなどにより、出会いを希望する人を支援しています。

良質な保育・教育の充実

新

●こども誰でも通園制度

就労要件を問わず、月一定時間まで時間単位で柔軟に保育園を利用できる制度をスタートしています。

新

●公立保育園トイレの環境改善

すべての公立保育園と、あすなろ園のトイレを洋式化し、こどもたちが快適に使えるトイレ環境を整備します。

新

●公立保育園DX推進事業

連絡帳や登・降園管理業務をデジタル化し、保護者の利便性を高めます。



子育てにおける経済的な支援



●保育園・学校給食費の負担軽減

物価高騰の中でも給食費を値上げせず、子育て世代の負担を軽減して安全でおいしい給食を提供しています。

強化

●一時預かりの保育料の軽減

普段、保育園を利用していない人が、一時的に保育園を利用する時の保育料を軽減しています(低所得世帯に限ります。)

市では、出会いや結婚、子育て、就労などの新たな支援を行ったり、対象者を拡大するなど、持続可能なまちを目指して、あたたかなまちづくりをすすめています。

新

令和7年度に
新しくスタートした事業

強化

令和7年度に
強化(対象者の拡大など)した事業

地域における子育て・子育ての支援



●産後ケア事業

出産後の母親とこどもに対して、助産師などが母子の心身のケアや育児相談、授乳のサポートなどを行います。

●都市公園の整備

8月にオープンした外神東公園の大型遊具など、こどもたちが楽しめる公園づくりを進めています。

「働いてよし」の活力あるまちの創造

新

●SDGs人材マッチングサイトの開設

「スポットワーク」という単発・短期間で働きたい人などと企業を結ぶ市公式求人サイトを開設し、柔軟な働き方を応援しています。

●ミヤパパプロジェクトの推進

父親の育児参画を応援するとともに、父親の育児休業の取得を推進し、父親・母親の2人で行う子育てを応援しています。



「住んでよし」の安全・安心なまちの創造



●移住・定住の促進

移住体験ツアーや地域の人々と関わる機会を創出し、官民連携で移住者の増加に努めています。

●若者のチャレンジ支援

「エキマエチャレンジハウス チリン」を整備し、若者の移住や起業の体験を支援しています。

みんなで応援しよう 白銀を駆けるモーグルスキーヤー 伊藤真凛選手

冬季オリンピック出場を目指して奮闘する、市内出身の若きモーグル選手を紹介します。



▲伊藤真凛選手

モーグルをはじめたきっかけは

スキーを2歳から始め、6歳の頃にモーグルのスクールに通い始めたことがきっかけです。8歳から公式試合に出て、どんどんモーグルに惹かれて行きました。小さい頃に見た上村愛子選手のカッコ良い滑りやジャンプに憧れた気持ちは、今も忘れていません。

モーグルの魅力とは

とてもカッコ良いところが魅力です！ターンやジャンプ、スピードを極めなくてはならないため、複合スポーツのように思えるところがあり、本人が楽しいだけではなく、観ている人達を魅了してしまうのもモーグルの魅力です。

将来の目標

モーグルを始めた時から目標にしてきた、ミラノコルティナ2026冬季オリンピックに出場することです。そして、ワールドカップで総合優勝を果たすことが大きな目標です。

また、スキー業界全体の活性化に繋がる活動に携わり、私を支えてくれる多くの人達へ恩返しをしたいと思っています。

市民の皆さんへメッセージ

富士宮市の皆さん、こんにちは。モーグルスキーヤーの伊藤真凛です。私は高校三年生まで富士宮で育ち、富士宮が大好きです。オリンピック出場を果たし、もっともっと元気なまちにしていけるようにがんばります。スポーツ選手は、地元の応援がとても嬉しいので、ぜひ応援をよろしくお願いします。



▲大会でコースを果敢に攻める伊藤選手



▲オリンピック出場を目指していることを報告

伊藤真凛(いとうまりん)選手 プロフィール

平成16(2004)年生まれ。小学生時代にモーグルに出会い、その魅力に惹かれ、競技を始める。「全日本デュアルモーグル」で優勝などの実績を残し、令和7年3月17日時点のモーグル・ワールドカップランキングでは、モーグル・デュアルモーグルともに16位(日本人5位)。

現在は早稲田大学スキー部に所属し、ミラノコルティナ2026冬季オリンピック出場を目指して奮闘中。